

第４回 都立大学駅周辺地区 交通バリアフリー推進懇談会

議事次第

日時：平成 15 年 3 月 12 日（水）19:00～

場所：八雲住区センター地下 1 階

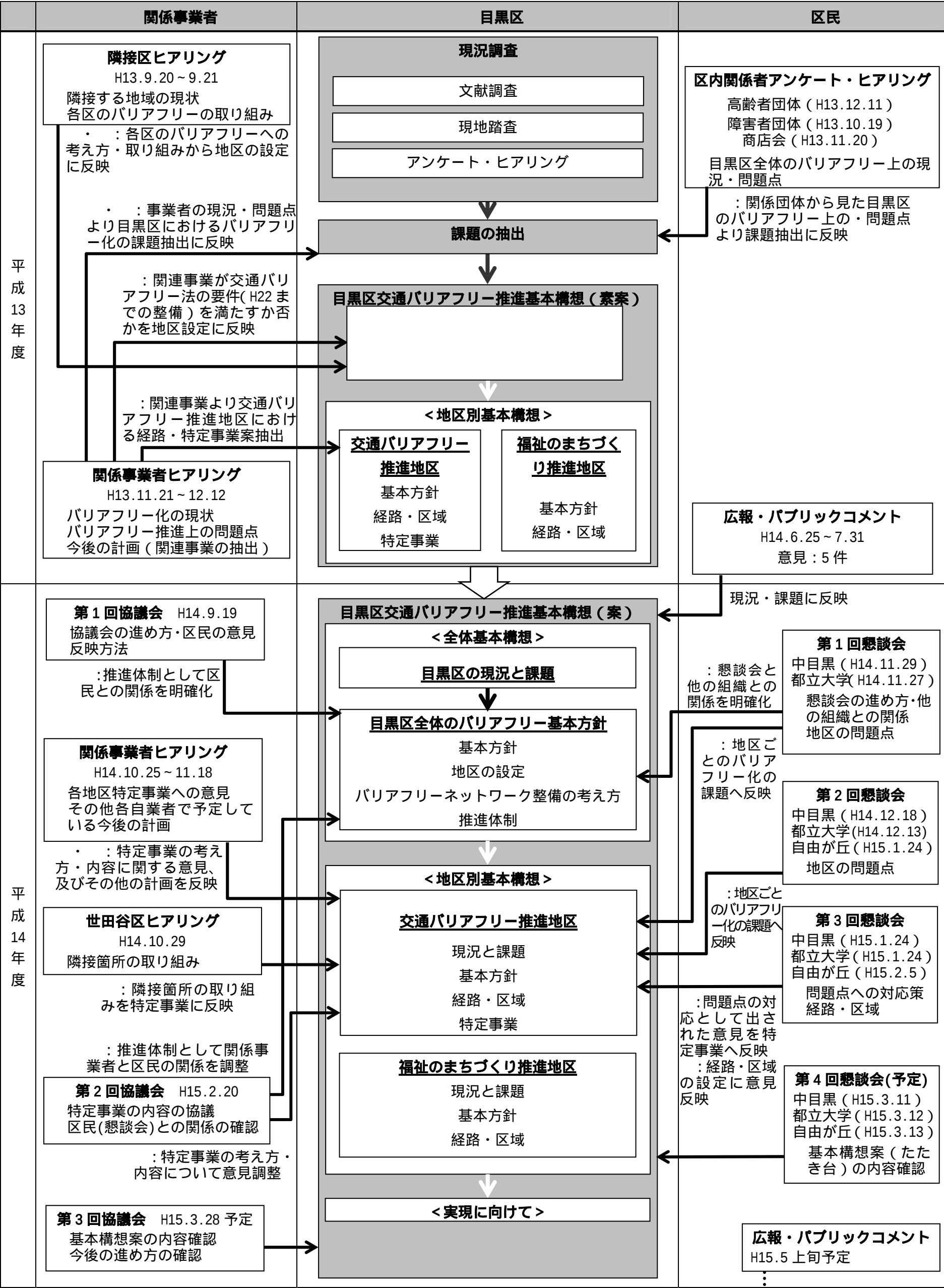
プレイルーム

1. 開会あいさつ
2. 交通バリアフリー推進基本構想案 策定プロセスの説明
3. 都立大学周辺地区 基本構想案（たたき台）について説明・意見交換
4. 今後の予定について
5. 閉会あいさつ

【事前送付資料】

- 開催のご案内
- 第 3 回懇談会議事録
- 第 3 回懇談会スライド資料

■ 交通バリアフリー推進基本構想案 策定プロセス



平成15年度は引き続き、協議会・懇談会を開催し、意見を反映させながら基本構想案をとりまとめ、公表・意見反映を経て、最終的な基本構想として策定していく予定である。
また、基本構想が作成した後は、速やかに区民に公表するとともに、関係事業者へ送付する予定である。

都立大駅周辺地区 基本構想案（たたき台）

ア 現状と課題

平成3年3月の都立大学移転後、『都立大学跡地利用計画』として目黒区と東京都が一体となり整備を進め、平成14年春に「区民キャンパス」が完成した。ホール・図書館等が整備されたことにより、今後、駅の利用者の増加が見込まれる地区である。

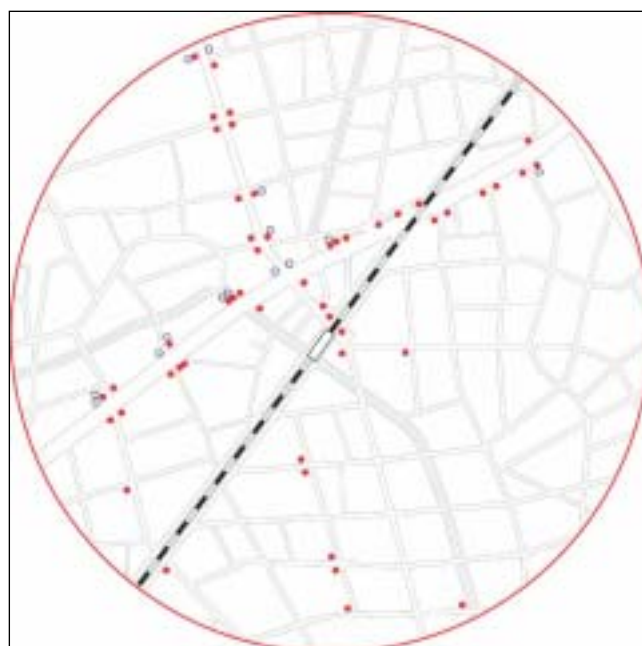
以下に、現地調査の結果、および地区住民を対象に開催された懇談会等で指摘された問題点、課題を整理する。

ア) 現地調査



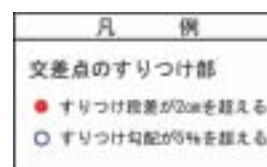
<道路形状>

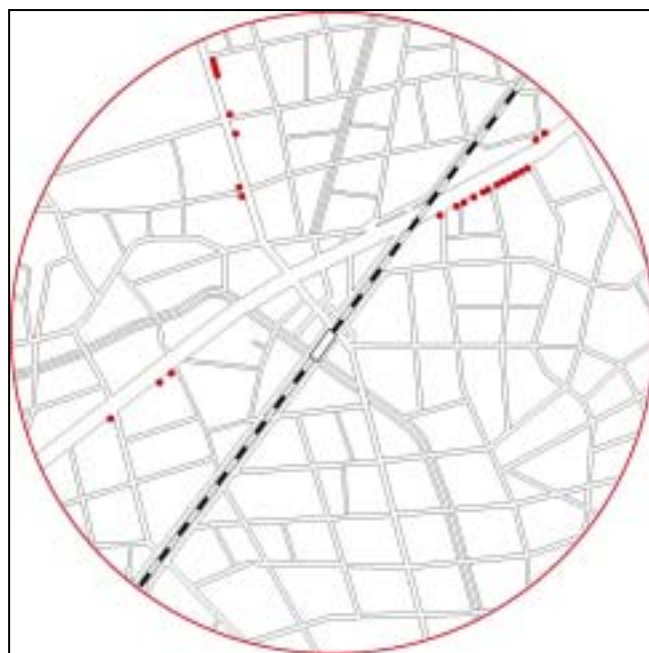
- ・歩道が確保されている道路は主に目黒通り、柿の木坂通り、呑川本流緑道、平町商店街で、平町商店街以外では有効幅員2mが確保されている。
- ・それ以外は白線により車道と路肩が区別されている道路がほとんどである。
- ・歩道が整備されている道路は少なく、用地確保などの問題から、新たな歩道設置も困難な道路が多い。



<歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配>

- ・すりつけ段差は目黒通り、柿の木坂通りのほとんどの交差点部、および駅周辺の歩道、広場で基準の2cm以上となっており、バリアフリー化のために改善が必要である。
- ・すりつけ勾配は目黒通りと他の道路の交差点部で基準である5%未満を満たしていない箇所がある。





< 歩道：横断勾配 >

- ・歩道の横断勾配は目黒通りの一部で基準の1%を満たしていない箇所が集中している。
- ・それ以外は柿の木坂通りの一部に基準を満たしていない箇所がある。

イ) 懇談会・ヒアリング等により指摘された問題点とその対応方針

障害者団体、高齢者団体、商店街連合会へのヒアリング・アンケート、および地区住民を対象として開催した懇談会で指摘された、都立大学駅周辺地区の問題点を整理する。

項目	関連意見	意見への対応方針
全体		
全体	・500mの範囲の外でも重要な施設があるので、もう少し広げて考えてはどうか ・行政の横断的な取り組みが必要ではないか ・様々な障害をもつ人の立場を考えてほしい。また懇談会にも参加するように呼びかけてほしい ・事業者、住民代表（障害をもつ人の代表も含め）、行政の三者で話し合う場がほしい ・協議会は、傍聴できるような開かれた場にしてほしい	・対象地域の範囲は周辺の施設などから柔軟に対応する ・障害をもつ人等へは懇談会への参加を呼びかけるとともに、別途障害者団体連絡会で説明を行う ・協議会から現段階では傍聴できないとの回答を得た
都立大学駅周辺		
● 歩道環境改善 ● 東急ストア関連対策 ● 放置自転車対策 ● ふれあい広場再整備	・バス停ベンチとバス待ちによって歩道が狭まる ・店舗から離れている駐輪場の改善してほしい ・店舗をワンスパン下げてバスベイ・タクシーベイにしてほしい ・東急ストア奥の事務所を移転して、駐輪場を整備できないだろうか ・パチンコ店前、フードセンター入口ガード下等で歩道上に自転車が置かれてバリアになっている ・買い物中の短時間でも自転車を撤去されることがある ・スペース（ロータリー）がなくバスの通行が不可能（交差点付近にバス停）である ・広場のゴミ箱に家庭ゴミを捨てる人がおり見苦しいので撤去してほしい（撤去済み）	・放置自転車対策については特定事業-1に位置づける ・駅周辺の整備は特定事業-2に位置づける（バス停・ふれあい広場）（東急ストアへはセッバックについて要望を出しており、今後協議を行っていく）

注) ●：計画全般、●：特定事業関係、○：主要経路事業関係、□：ソフト対策関係、：その他関係

第4回都立大学駅周辺地区交通バリアフリー推進懇談会

平成15年3月13日

項目	関連意見	意見への対応方針
都立大学駅周辺		
● タクシー等交通関連対策	- 駅を出てタクシーが拾えないこともバリアである - 駅前広場は駅の直近でなくてもいいのではないか。その場合、駅との間を人中心でゆっくりと歩けるスペースにしてほしい - タクシー利用者は歩きたくない人なので、タクシー乗り場は今のよう駅近傍の方が良い	駅周辺の整備は特定事業-2に位置づける（タクシー乗り場）
バス停の位置	目黒通り西北のバス停を駅に近い場所に移動してほしい	関係事業者へ意見を伝えていく
デマンドバス・シャトルバス等	- タクシー利用者の 3/4 は医療センターへ行っている。デマンドバスやシャトルバスの検討をしてほしい - 呑川緑道（本流・支流）を使って、デマンドバスの停車空間を作ってはどうか	デマンドバスやシャトルバスの要望については、今後全区的に検討を進める予定
柿の木坂		
● 歩道環境改善	- ポストや電柱が歩道を狭めている - 商店の看板・商品、歩道への自動車の乗り上げ等により通行しにくいので規制してほしい - 東側歩道は 2m 未満のため、電線地中化などで歩道幅員を確保してほしい	- 放置自転車対策については特定事業-1に位置づける - 柿の木坂通りのバリアフリー整備は特定事業-3に位置づける（歩道環境改善・休憩スペース確保・横断歩道の設置） - バリアフリー施設の位置は特定事業-4のサイン等へ反映させる
● 休憩スペース確保	- 勾配がきつく雨・雪時、車いすは大変。雨風がしのげる場所を確保してほしい - お年寄りや重い荷物を持った人が休めるスペースを確保してほしい	
● 放置自転車対策	- 三井住友銀行前に放置自転車が特に多い - 八雲小学校が総合学習で駐輪へ注意を呼びかけた	
● イベント時の歩行者対策	- イベント開催時は、区民キャンパスから駅に向かう歩行者で歩道があふれてしまう - 東側の歩道へ渡れるように区民キャンパスの入口付近に横断歩道がほしい	
● バリアフリー施設のPR	青時間延長の信号はどこにあるのかわからなかった。もっと広報してほしい	
商店街周辺		
○ 歩道環境改善	- 歩行者のスペースの確保をしてほしい - 自転車・商品・配達用バイクの歩道はみ出しで通行が困難である - 夜間の路上駐車がひどいので徹底的な取締りを行ってほしい	放置自転車対策については特定事業-1に位置づける
区民キャンパス		
施設内部環境改善	- 体育館・図書館・パーシモンホールは新しくなったがトイレの床素材が滑りやすい - パーシモンホールは車いすでは席まで移動しやすいが歩行困難な方は困難である	関係部署へ周知する
利用者の傾向	- 公園は子どもが集まる場所になった。 12/8 身障者イベントは雨天の影響もあり、少なくバス・タクシー・車利用が多かったようだ	
呑川緑道		
○ 歩道環境改善	- 段差をなくして歩きやすくしてほしい - バリアフリールートに位置づけてほしい - 側道を含めて全体が緑道と考えている - 散歩の喜びも含めバリアフリーを検討してほしい	呑川緑道については日常的に利用される地域の骨格的な経路であるため、主要経路に位置づける

注) : 計画全般、● : 特定事業関係、○ : 主要経路事業関係、□ : ソフト対策関係、 : その他関係

項目	関連意見	意見への対応方針
呑川緑道		
● 暫定駐輪場改善	・ 料金が年間 3,000 円は安い（他自治体：3,000 円程度/月） ・ 料金が高いと停める人がいなくなる 停めないのであればそれでいい。放置したら撤去すればよい ・ 緑道駐輪場は暫定的なものとしてほしい	・ 放置自転車対策については特定事業-1に位置づける
ソフト対策		
□ 商店街の受け入れ体制検討	・ 商店街の方にもバリアフリーを意識してもらうことが必要である ・ 商店の人の受け入れなど心のバリアフリーが問題 ・ 人が通りやすいバリアフリーの街で商店街を活性化していくことも考えられる。バリアフリーで街を良くしていく	・ 放置自転車対策については特定事業-1に位置づける ・ ソフト面については、商店街や区民に対して、意識啓発等について取り組んでいく
□ 住民のルールづくり	・ 住民が協力して、住民の方から考えてルールを作っていく必要があるのではないか ・ まずは住民の自分たちが考えることで短期的な対策をすべきではないか	
● 自転車利用のモラル対策	・ 昔は自転車を歩道と平行に停めるように言われていた。今は歩道と直角に停めているので邪魔になっている ・ 自転車を停めることはモラルの問題で、マナーはどんどん悪くなっている ・ 放置自転車の撤去は現在実施しているようなたまにではなく、徹底的にしてほしい。たまに撤去するのでは、置きっ放しの自転車があり、置いたものの得になってしまっている ・ 撤去は移動だけでなく罰金を科してはどうだろうか 所有者がわからないので難しいのではないかと誰が乗っているのかわかるように人の名前ではなく所属している組織の名前を自転車に明記するようにしてはどうだろうか ・ 撤去料と駐輪場の料金のバランスを考えてほしい ・ ボールに自転車を結び付けている人がおり、自分の物のようにしている。これが他の自転車の放置を助長している ・ 自転車・自動車の駐車問題は短期的な解決ができるのか？ ・ 自転車の置く場所について、緑道や道路上などを利用して自転車駐車を整備してはどうだろうか。他の事例を調べて情報提供してほしい ・ 年に1～2度でも、区民で放置自転車対策をするなら協力したい	
その他		
○ 国立病院 東京医療センター	・ 重要な施設なのでここまでのルートの検討してほしい（区民キャンパスからのルート・八雲小学校からのルート）	・ これらの施設については、地域の重要な施設であることから主要施設として位置づける
○ 碑文谷保健センター	・ ここまでの通りは学生、自転車の通行が多い ・ 妊産婦の立場から通りやすいように改善してほしい	
○ 中根公園	・ 昔から子どもが集まる場所 ・ 日扇会第一病院を含めて中根公園に至る経路の検討してほしい	

注）：計画全般、●：特定事業関係、○：主要経路事業関係、□：ソフト対策関係、：その他関係

イ 基本方針

- ・ 区民キャンパスと都立大学駅とを結ぶ特定経路、およびふれあい広場等の駅周辺について、バリアフリーネットワーク化の整備を進める。
- ・ 「都立大学駅周辺地区整備基本計画」、「八雲地区コミュニティゾーン整備計画」等、既定計画の考え方と調整を図りながらバリアフリーネットワーク化を進める。
- ・ 主要施設は地域の住民が日常的に利用する公共的施設とする。また、主要経路は、主要施設と駅を結ぶ特定経路を補完する経路や、商店街に含まれる経路ならび関連計画等で位置づけられている経路とし、地区内で回遊できるバリアフリーネットワークを確保する。

このような方針に基づき、以下のように特定経路、主要経路を設定する。

<特定施設>

区民キャンパス（めぐろパーシモンホール、八雲中央図書館、八雲体育館、身障者センターあいアイ館、セレモニー目黒 等）

<特定経路>

都立大学駅から柿の木坂通りを経由し、区民キャンパスまでの経路

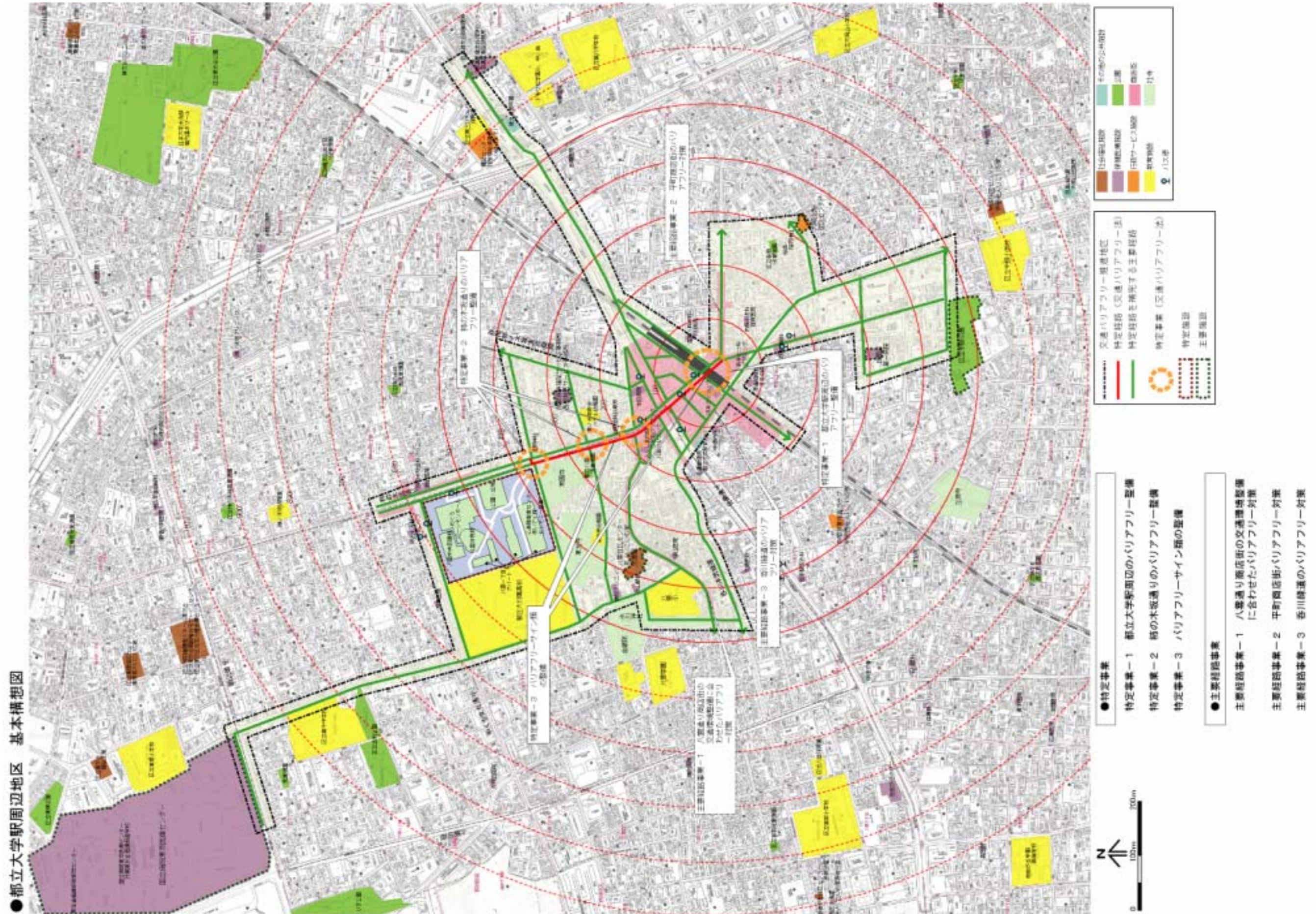
<主要施設>

西部地区サービス事務所（西部保健福祉サービス事務所）、大岡山西住区センター
八雲住区センター、碑文谷保健センター、国立病院東京医療センター
日扇会第一病院、区立中根公園

<主要経路>

- ・ 都立大学駅および特定経路と主要施設を結ぶ経路
- ・ 都立大学駅周辺地区の商店街に含まれる経路
対象となる商店街：柿の木坂商和会、都立大学本通り親和会、八雲通り共栄会、富志美会、トリツ・マーケット協同組合、トリツフードセンター、平町商店街振興組合、中根商盛会
- ・ 都立大学駅周辺地区の関連計画等に位置づけられた経路
対象となる関連計画：『都立大学駅周辺地区整備基本計画』
『八雲地区コミュニティゾーン整備計画』
『目黒区生活道路基本計画（現在策定中）』
『みどりの散歩道』
『目黒区都市マスタープラン（現在策定中）』

次ページに上述した施設、経路ならびに事業メニューを網羅した基本構想図を示す。



ウ 特定事業・主要経路事業

特定事業と主要経路事業のメニューを以下に示す。

特定事業 - 1 駅周辺の放置自転車対策の推進

【基本方針】

放置自転車に関して、関係者との連携を保ちつつ、放置自転車対策協議会により地域住民とともに対策案等の検討を進めていく。

【事業メニュー】

- ・ 放置自転車対策協議会を設立し、地域住民とともに放置自転車対策の検討推進
- ・ 適地がある場合は駐輪場の早期整備を推進

特定事業 - 2 都立大学駅周辺のバリアフリー整備

【基本方針】

駅周辺については、平坦で幅員2m以上の歩道空間を確保するとともに、交通結節点としての役割を考慮し、バス・タクシーとの乗り換えを円滑に行うことが可能になる整備を一体的に進める。

【事業メニュー】

- ・ 東急ストアを1スパン分セットバックすることによる歩行空間の確保
- ・ バスベイの移設・再整備（駅から連続した上屋整備・ベンチ整備）
- ・ 柵の撤去などによるふれあい広場の再整備
- ・ 車道かさ上げによる改札前横断歩道のスムーズ横断歩道化
- ・ 呑川支流緑道を活用したタクシープール整備

特定事業 - 3 柿の木坂通りのバリアフリー整備

【基本方針】

駅から区民キャンパスへつながる柿の木坂通りでは、現在の歩道について幅員2m以上が確保されるように工夫するとともに、横断歩道の整備、休憩スペースの設置など安全で安心して歩ける歩道整備を行う。

【事業メニュー】

- ・ ポスト・標識等占有物の整理・集約による歩道有効幅員の確保
- ・ スムース横断歩道の整備による段差・横断勾配の解消
- ・ 交差点部のすりつけ段差・すりつけ勾配の問題箇所の解消
- ・ 連続した点字・誘導ブロックの整備
- ・ 区民キャンパス入口部交差点へ横断歩道の設置・信号の設置（押しボタン式）
- ・ 坂途中に休憩スペースの確保

特定事業 - 4 バリアフリーサイン類の整備

【基本方針】

駅にバリアフリー施設の位置がわかる総合案内サインを整備するとともに、駅と区民キャンパスを結ぶ経路等について誘導サインの整備を行う。

【事業メニュー】

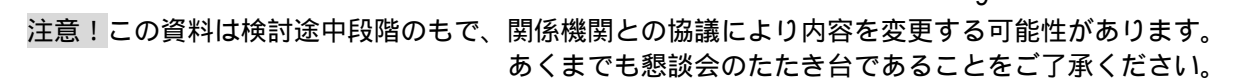
- ・ 総合案内サイン施設の整備
- ・ 特定経路での誘導サイン施設の整備

特定事業 - 1 駅周辺の放置自転車対策の推進

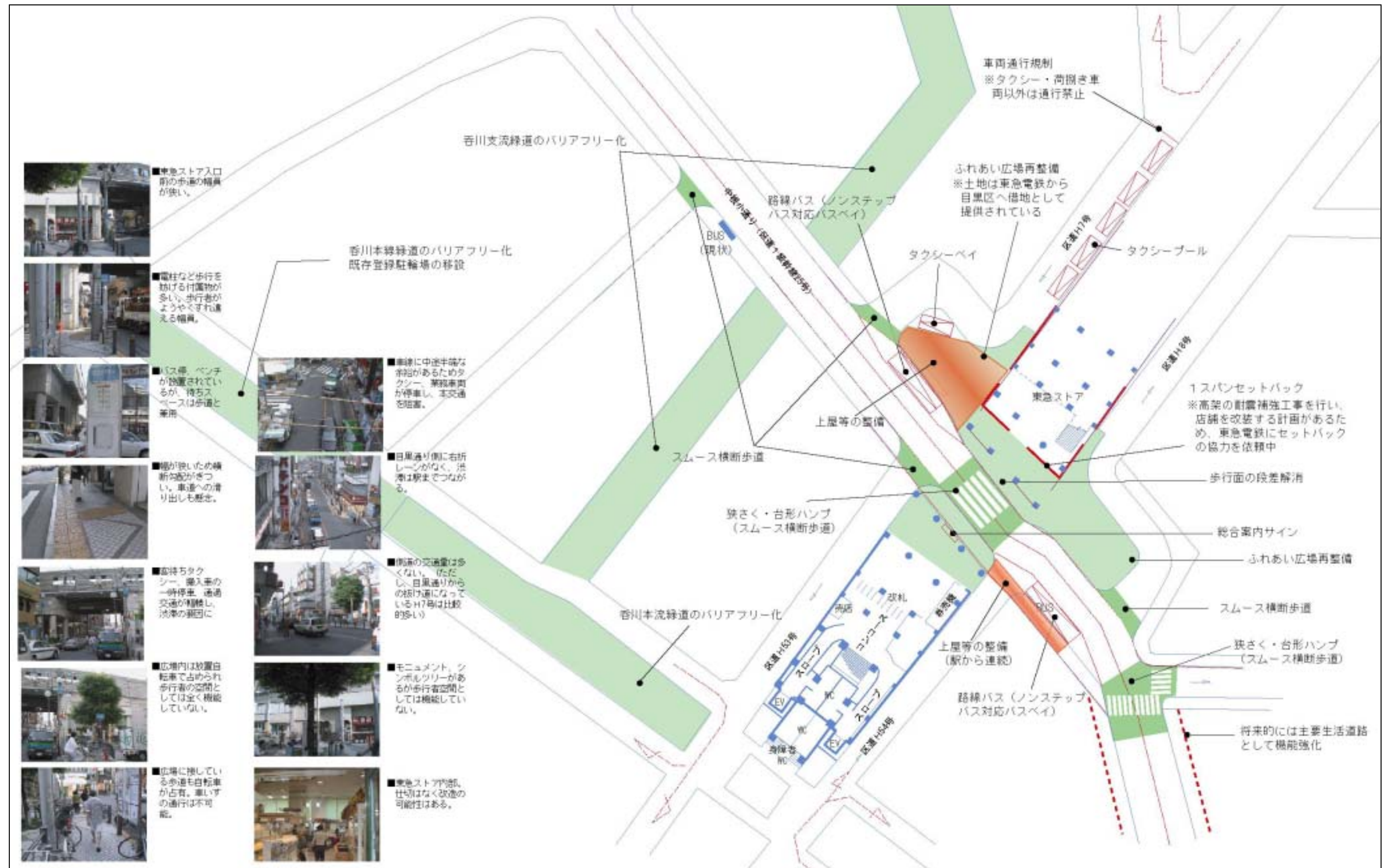
- ・ 放置自転車対策協議会を設立し、地域住民とともに放置自転車対策の検討推進
- ・ 適地がある場合は駐輪場の早期整備を推進

< 参考事例 >

	対応の考え方	内容	全国の参考事例
1	モラルに訴え心理的圧力をかける方法	・ 条例、過料等による徹底 ・ 停めにくい空間づくり ・ 商店街等との連携による放置自転車の排除	千代田区早稲田通り ・ 地元団体がフラワーポットをガードレールに設置 ・ 面する商店が里親となり水やり、清掃 ・ 放置自転車がなくなった
2	発生源対策	・ 交通不便地域の解消、自転車を代替する手段の検討 ・ 近傍からの利用を抑制。徒歩推奨	
3	駐輪場の利用を高める方法	・ 案内、使いやすさ、利用率を追求、改善 ・ 需要に応じた配置（建築更新時に確保、残地の活用） ・ 商店街との連携による利用促進	世田谷区 千歳烏山商店街 ・ 通勤通学者の路上駐輪を防止 ・ 最寄り体育大学の学生が指導 ・ 学生を起用しソフトに対応 ・ 年間600万円を商店街が支出
4	買い物と通勤通学の分離	・ ITの活用、有料化、機械化 ・ 商店街で共同確保（チケット制）	駐輪場運営委託：自転車100円パーキング ・ 小田急線狛江他5駅周辺、JR上野、目黒駅等23カ所で導入 ・ 鉄道事業者、スーパー等の無料駐輪場を民間会社が賃借 ・ 電磁ロック式のコイン駐輪機を設置 ・ 1～2時間は無料とし以降1時間100円 → 清掃人件費、自転車処分費等の3割削減 → 店舗用駐輪場での通勤利用者が減少 → コンピュータ管理により長期間駐輪処分の判断が容易に → 駐輪車の回転率が高まり放置が減少
5	新規駐輪場の整備	・ まちづくりと一体となった新規駐輪場の整備 ・ 休日に空く駐車場の活用 ・ 歩道空間を利用した駐輪場の整備	東京都武蔵野市（吉祥寺駅周辺） ・ 吉祥寺駅は休日買い物客が多く集まり、自転車が集中し、駐輪場が不足 ・ 土日祭日に利用していない銀行の駐車場を無料駐輪場として開放（東京三菱銀行とみずほ銀行が提供） ・ 武蔵野市ではHOP・Holiday free Parkingと位置づけている ・ 受付はAM10～PM6、閉場PM7 歩道上の駐輪施設（大阪市・名古屋市等） ・ 大阪市は有料、名古屋市は無料で実施
< 23区内のその他の自転車対策 > 台東区 コミュニティサイクル実験 ・ 上野駅周辺半径1kmを対象。学校など12箇所に自転車ポート配置。24時間利用可能 ・ 220人のモニターに130台の自転車を無料貸し出し。使用した自転車は必ずポートに返す。 世田谷区 自動駐輪式レンタサイクルシステム ・ 小田急線成城学園駅前に地下式駐輪場を整備。スクラップ自転車を活用 ・ 総工費8,000万円。144台収容。135人が月額2,000円で契約 練馬区 レンタサイクルシステム ・ 6箇所貸し出し → 稼働率低く50% 板橋・豊島区官民協働自転車が走るまちづくり社会実験 ・ 不動通り車道空間で自転車専用レーンの実験 ・ 劇場通り東側歩道にて自転車専用レーンの実験 → レーンの走行比率は6割で一定の分離効果を確認。白線表示により放置自転車排除にも効果 → 歩行者はレーン設置要望高く、完全分離を希望。 ・ 3カ所ある自転車駐車場への誘導サインを設置 → 顕著な利用増加は認められなかった ・ 実験期間中、毎日啓発ビラを配布 → 平日ピーク10～20%、休日ピーク50%放置が減少 ・ 公共地下駐車場に40台のオートバイスペースを確保			



特定事業-2：都立大学駅周辺のバリアフリー整備イメージ（代替案）



特定事業 - 3 : 柿の木坂通りのバリアフリー化イメージ

< ポスト・標識等占用物の整理・集約 >



現 状

- 郵便ポスト、バイク・自転車、ボラード（車止め）により歩道幅員が狭められている

整備イメージ

- 郵便ポストの移設、バイク・自転車の撤去、ボラード（車止め）を縁石上に移設することにより歩道幅員を確保

< 横断勾配の解消（常圓寺交差点：スムーズ横断歩道化） >



現 状

- 歩道の横断勾配がきつく、車いす利用者にとっては車道側へ飛び出してしまう可能性があり危険

整備イメージ

- 横断勾配を解消するとともに、スムーズ歩道として整備を行い、歩道の連続性を確保する
八雲地区コミュニティゾーン整備計画では、常圓寺前の通りはカラー舗装をし、交差点部ではイメージハンプの整備を示している

特定事業 - 4 : バリアフリーサイン類の整備

- ・ 総合案内サイン施設の整備
- ・ 特定経路での誘導サイン施設の整備